



ロータリーは 分かちあいの心

2007～2008年度
国際ロータリーのテーマ
ウィルフリッドJ.ウィルキンソン

会長／関野政人 幹事／山本讓二

DISTRICT 2510 JAPAN

留萌ロータリークラブ 会報

2007▶2008 WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ会長テーマ

みんなロータリーが好きだから
出会いを創造し活性しよう

プログラム

●本日

2007-08年度R | 2510地区「地区大会報告」

結婚記念日

11月7日 関野 政人

●次週予定

「税務行政」のIT化への取組～e-tax

留萌税務署 署長 廣末 勝幸様

No. 2302

第17回 11月7日



前例会

会員総数.....51名
出免会員.....0名
欠席会員.....0名
出席率.....100%

前々例会

第14回 10月10日
欠席会員.....14名
メイクアップ.....1名
修正出席率.....73.47%

例会／毎週水曜 12:15～13:15 留萌産業会館2F

📝 会長報告

- 北海道電力(株)森地熱発電所の見学移動例会および函館の地区大会と、強行日程のなか多くの会員の参加を頂き感謝申し上げます。

今回の事業には幹事、例会運営委員会には大変ご苦勞をお掛け致しました。更に、会員事業所の北海道電力様、沿岸バス様にはお世話、ご協力を頂きありがとうございました。

ロータリークラブ会員の友情に改めて感謝いたします。ありがとうございました。

📝 幹事報告

- 1) 砂川ロータリークラブより11月例会の案内が届いております。

📝 3分間情報

会員研修委員会 澤田委員長
「ロータリー財団月間」

1964 - 65年度理事会と管理委員会は、毎年11月15日を含む1週間をロータリー財団週間とすることに定めた。

その後1983 - 84年度に、11月をロータリー財団月間と定めた。

財団の奨学事業及び人道的諸事業についての知識と理解を深め、財団の推進に役立つプログラムを実施する月間である。RI理事会指定の8つの月間の一つ。

ロータリー財団の使命

財団の使命は、地域レベル、全国レベル、国際レベルの人道的、教育的、文化交流プログラムを通じて、ロータリーの綱領とロータリーの

第16回 10月19日(金) 天候/曇

使命を遂行し、かつ世界理解と平和を達成しようとする国際ロータリーの努力を支援することです。

財団の発展

1947年1月27日にポールハリスがイリノイ州シカゴの自宅でなくなりました。70カ国以上30万人以上のロータリアンがロータリーの創始者の死を悼みました。しかし、ポールハリスの死は財団の転換点になりました。ポールの逝去で寄付が国際ロータリーに相次いで寄せられるようになりました。財団はポールハリス記念基金を設け、ポールに敬意を表したいロータリアンに対して、財団寄付をお願いしました。その反響は素晴らしいものでした。翌年の7月までに130万ドル以上が寄付されました。

1947年には最初の財団プログラムが実現されました。それは高等研究奨学金と呼ばれるもので、これが最初のロータリー国際親善奨学生でした。財団の発展は、プログラムを開発したときに始まります。世界中のロータリアンの心をとらえたプログラムだったのです。どのプログラムもロータリーの理想を掲げ、育むものばかりです。

りです。

さらに1957年にロータリー財団は、財団の活動に寄付した人々への感謝を示す手段として、ポールハリス・フェローの認証を開始しました。自ら、または第三者の名義で財団に米貨1000ドル(または相当額)を寄付すると、ポールハリス・フェローとして認証されます。

保健、飢餓追放および人間尊重プログラム開発のための75周年記念基金(1979-80)の設置を決定しました。3Hプログラムの目的は、国際間の理解、親睦および平和を促進するための方法として、人々の健康状態を改善し、飢餓を救済し、人間的社会的向上を図ることです。

ロータリーは、個人奉仕から一歩踏み出して新しい道を歩み出しました。この3Hプログラムから、ポリオ・プラス・プログラムやロータリー・ボランティア・プログラムが生まれました。財団プログラムも世界のニーズと共に多様化し、寄付も会員数に関わり無く増え続けています。



プログラム……………

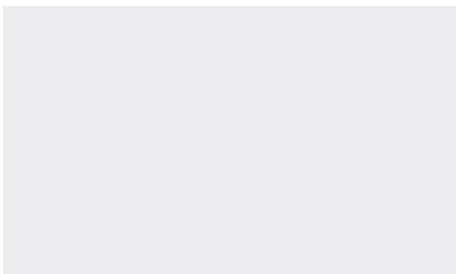
移動例会

- ◆北海道電力(株)森地熱発電所見学
- ◆第2510地区 地区大会





北海道電力榑森地熱発電所見学



第16回 10月19日(金) 天候/曇

